

JINBEI TR-V6 をご購入いただき、誠にありがとうございます。本取扱説明書には組立、安全なご利用に関する大切なご案内が記載されています。本書を熟読の上、正しくご利用下さい。また、お読みになった後は大切に保管し、必要な時に役立て下さい。なお、本書の無断転載・2次使用を固く禁じます。



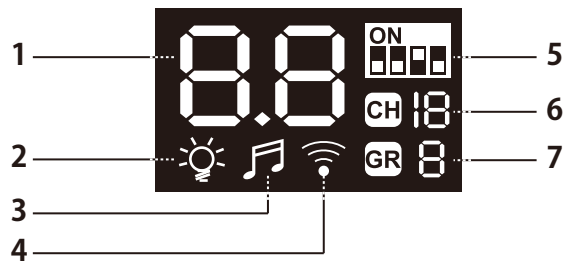
安全の為に確認下さい

- ⚠ 可燃性液体が接触する可能性のある環境、雨天時や水中のご利用、保管は禁止です。
- ⚠ 強磁界、及び粉塵の多い環境でのご利用、保管は避けて下さい。
- ⚠ 結露を防ぐため、温度変化の激しい場所や炎天下の車中などでのご利用、保管は避けて下さい。
- ⚠ 電池をセットした状態の長期保管はおやめください。液漏れによる破損の原因になります。
- ⚠ 筐体内への金属パーツの混入等にお気をつけ下さい。
- ⚠ 濡れた手や濡れた布で製品に触れないで下さい。
- ⚠ 代理店以外による分解、改造、修理は禁止です。これらの形跡が認められた場合、保証期間は無効になり全ての保証対象外となります。
- ⚠ 被写体の至近距離での発光は健康被害を引き起こす恐れがあります。絶対におやめ下さい。

その他 利用上の注意

◆各部のネジは締めすぎないようにご注意ください。ネジが破損する場合があります◆ホットシューへの着脱はロック状態を確認しながら過負荷を避けて下さい◆小さいお子様の手の届かない環境で運用してください◆電池は消耗品です。定期的な交換をおすすめします◆ご使用方法や環境次第ではスペック通りの性能が引き出せない場合があります◆オムニバスを含む弊社契約店以外からのご購入品は国内で使用できません。

各部名称



- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 出力値 | 1.0(最小)~9.0(最大) |
| 2. モデリングランプ | ON時に点灯 |
| 3. チャージ完了音 | ON時に点灯 |
| 4. グループデータ同期 | 有効時点灯。CH変更時に各GRの設定値を自動同期 |
| 5. チャンネル (DIP表示) | チャンネルのDIP表示 |
| 6. チャンネル | 最高16チャンネル(00-15) |
| 7. グループ | 最高10グループ(0, A~I) |

クイックガイド

STEP0 ストロボ本体の無線機能を有効化、チャンネル、グループを設定

STEP1 リモコンをカメラに接続、電源ON (電源ボタン長押し)

STEP2 チャンネル設定 …………… (ストロボと同一チャンネル)

STEP3 グループ選択 …………… (ストロボと同一グループ)

STEP4 出力調整・テスト発光 …… (TESTボタン/シャッター)

FUNC1 チャージ完了音を設定 …………… (Fnボタン長押し)

FUNC2 モデリングランプを設定 …………… (Fnボタン短押し)

FUNC3 グループ設定無効化/出力表示切替 …… (GRボタン長押し)

FUNC4 グループデータ同期設定 …………… (CHボタン長押し)

- ◆使用できる電池はアルカリの単4電池です。一部ニッケル水素電池などは使用できません。
- ◆出力を0以下にするとSL(SLEEP)と表示され、選択中の灯体がスリープモードになります。
- ◆同一チャンネル上のグループは全て同調します。但し、スリープ状態のグループは発光しません。
- ◆選択状態のグループのみ、調光・各種設定が可能です。
- ◆リモコンの設定値は常時灯体の上書きされます。(灯体側で設定してもリモコンにより変更されます)

STEP1 電源ON/OFF

新品の単4アルカリ電池をセットし、電源ボタンを1秒以上長押しすることで電源のON/OFFが可能です。およそ30分で自動OFFになります。

STEP2 CH設定

チャンネルボタンを押してCHアイコンを点滅させます（選択状態）。[▲]または[▼]ボタンでチャンネルを選択します。00~15チャンネルまでを設定でき、同じチャンネル内の全てのグループを同調させます。*

※1. スリープモードのグループを除く。

STEP3 GR選択

GRボタンを押してGRアイコンを点滅させます（選択状態）。[▲]または[▼]ボタンでチャンネルを選択します。選択中のグループのみ、調光や各種設定が可能です。

STEP4 調光・TEST

[▲]または[▼]で出力を調整します。ボタンを短く押しと0.1EV単位、長く押しと1EV単位で調光が可能です。TESTボタン、またはカメラのシャッターを切つてストロボが発光することを確認します。発光しない場合は、手順を再度ご確認ください。最小値以下に出力を落とすと、「SL」と表示されて該当する灯体がスリープモードに移行します。スリープモードの灯体は同調・操作出来ません。ストロボ灯体の設定可能範囲を超えた設定は出来ません。（DM-5の最大出力表示は7.0です。）

FUNC1 チャージ完了音

Fnボタンを長押しして、選択グループの灯体の充電完了音をON/OFF出来ます。

FUNC2 モデリングランプ

Fnボタンを短押しして、選択グループの灯体のモデリングランプをON/OFF出来ます。

FUNC3 グループ設定無効化/出力表示切替

GRボタンを長押しして「0」を選択することで、DM3-400-VやHD-600-V、LEDライトEF-150等、グループ機能の無いライトの操作が可能になります。なお、LEDライト『EF-150-V』は「2」を、『EFII-60』は「3」を指定してください。※通常は「1」を選択してご使用ください。

FUNC4 グループデータ同期設定（通常はデフォルト状態でOK）

※本設定は通常使用には特段影響を与えません。設定変更する際は機能を十分ご理解の上作業してください。

本機でCH変更を行った際、変更先CHに設定された灯体に対し、変更元CHの各GRの設定値が送信される機能です。CHボタンを長押しすると右図の画面が現れます。数字が点滅しますので[▲][▼]ボタンで[0]か[1]を選んでください。

[1]: この機能が有効です。Wi-Fiマークが表示されます。

[0]: この機能が無効です。



スペック

リモコンモード	V6モード	電源	単4アルカリ電池 2本
対応機器	DM-5、HD-610、MARS-3、 EFII-60、EF-150-V	シンクロ方式	JINBEI TR方式 (技適204-720305)
調光範囲	9f-Stop (9.0-1.0、0.1ステップ)	チャンネル	16チャンネル (00-15)
シンクロスピード	1/250秒以下 (カメラ仕様に準ずる)	グループ	10グループ (0, A-I)
		サイズ	78(L) × 49(W) × 38(H) mm (突起部含まず)
		重量	50g (電池除く)

故障かなと思ったら

▼リモコンの電源が入らない、液晶画面が薄くなる・不鮮明になる

・新品の単4アルカリ電池をご利用ください。一部ニッケル水素電池は端子形状の都合上、接触不良となる他、電圧不足により起動出来ない、または正常に機能しない場合があります。

▼リモコン使用時、シャッターを切ってもストロボが < 全く > 光らない。

- ・リモコンの電源状態、電池残量、カメラへの接続状態を確認して下さい。
- ・ストロボの無線モードを有効にして下さい。
- ・CH設定はストロボ本体と同じにして下さい。
- ・ストロボがスリープモードになっていないか確認して下さい。
- ・DM-5の光スレーブはOFFにしてください。ONの時はシンクロしません。
- ・Canonのカメラで本製品を使用する際は、カメラを下記設定にしてください。
 - LV 静音 (ソフト) 撮影 「しない」
 - HDR モード 「オフ」

▼リモコン使用時、ストロボが発光したりしなかったりする。

- ・充電が間に合わない、スタンバイからの復帰時など、稀に不発が起こります。故障ではありません。
- ・現在設定しているチャンネルを変更して下さい。CHが近いと混信することがあります。
- ・リモコンの電池残量が少ない場合があります。電池を新品に変えて下さい。
- ・近くに電波を発する機器がある、ストロボと距離が離れている、間に遮蔽物がある場合等は原因を取り除いて下さい。

▼TTL/HSS が機能しない。

- ・TR-V6はTTL、HSSは機能しません。

▼ストロボは光るが、画面の一部が暗くなる。

- ・カメラ固有のシンクロスピードを超えたシャッター速度になっています。カメラ固有のシンクロスピード以下でご利用ください。

▼閃光モード (FREEZE/NORMAL) について

- ・閃光モードはリモコン単体で設定できません。予めストロボ側で設定して下さい。

▼連写が出来ない、追従しない

- ・ストロボ本体の出力が大きすぎると、充電が間に合わず連写出来ません。
- ・リモコンの電池残量が少ない場合があります。電池を新品に変えて下さい。

▼ストロボ本体で手で出力調整などを行ったが、リモコンを使うとリセット、または変更される。

- ・TR-V6の設定値はシンクロ信号と共に灯体に送信され、上書きされます。その為、ストロボの設定値はTR-V6の設定値と常に同一となります。リモコンを使う場合には、必ずTR-V6側で設定変更をしてください。

▼リモコンの設定が反映されない、出力値が一致しない。

- ・各モードからの復帰時において、リモコンとストロボの出力値が一致しない場合があります。リモコン上で出力変更操作をして、出力値をストロボに反映させて下さい。